

経済社会総合研究所の概要と実績

(2015年4月～2016年12月)

1. 所掌事務等

経済社会総合研究所 (Economic and Social Research Institute: 以下 ESRI という) は、中央省庁再編の一環として従来の経済企画庁経済研究所の機能、規模を拡充して2001年1月に発足した内閣府の機関です。内閣府は重要課題を担当する「知恵の場」ですが、ESRI は内閣府のシンクタンクとして理論と政策の橋渡しを担う、言わば「知恵の場」の中の「知恵の場」といえます。

ESRI の主要な任務として、経済活動、経済政策、社会活動等に関わる理論及び実証研究を行い、政策研究機関としての機能強化を図るとともに、内部部局と連携し、経済財政諮問会議の審議に資する研究の実施と政策研究を担う人材育成・研修等に取り組んでいます。また同時に、GDP (国内総生産) 統計に代表される一国経済の循環を記録する国民経済計算体系(SNA: System of National Accounts) の推計作業を行い、四半期毎の GDP 速報 (QE: Quarterly Estimates)、年度毎の確報を公表、さらには、CI (景気動向指数) 等の景気動向統計の作成を行い、公表しています。

2. 主な研究報告

(1) 『経済分析』

第191号 「経済分析第191号 (特別編集号)」2016年11月

第190号 「経済分析第190号 (ジャーナル版)」2016年1月

(2) ESRI Discussion Paper

No. 333 The Intra-Family Division of Bequests and Bequest Motives:
Empirical Evidence from a Survey on Japanese Households

濱秋 純哉、堀 雅博、村田 啓子 2016年9月

No. 332 結婚の意思決定に関する分析～「結婚の意思決定に関する意識調査」の個票を用いて～

佐藤 博樹、三輪 哲、高見 具広、高村 静、石田 絢子 2016年9月

No. 331 Effects of Commodity Price Shocks on Inflation: A Cross-Country Analysis

関根 篤史、敦賀 貴之 2016年7月

No. 330 東日本大震災と生産回復のダイナミクス

乾 友彦、枝村 一磨、一宮 央樹 2016年3月

No. 329 Impacts of Government Spending on Unemployment: Evidence from a Medium-scale DSGE Model

松前 龍宜、蓮見 亮 2016年3月

No. 328 2010年産コメ購買行動における原発事故による影響の分析

水田 岳志、乾 友彦、松浦 寿幸 2016年3月

No. 327 災害リスク情報と不動産市場のヘドニック分析

佐藤 慶一、松浦 広明、田中 陽三、永松 伸吾、大井 昌弘、大原 美保、廣井 悠 2016年2月

No. 326 The Role of Productivity Growth Rates for Rising Inequality

in an Economy with Heterogeneous Agents

近藤 豊将 2016年2月

No. 325 労働時間と過労死不安 亀坂 安紀子、田村 輝之 2016年1月

No. 324 サプライチェーンと金融制約を織り込んだ震災モデルの構築及び分析

佐藤 主光、小黒 一正 2015年12月

No. 323 少子化と未婚女性の生活環境に関する分析

～出生動向基本調査と「未婚男女の結婚と仕事に関する意識調査」の個票を用いて～

松田 茂樹、佐々木 尚之、高村 静、大澤 朗子、小野田 壮、藤澤 美穂、上村 秀紀、石田 絢子
2015年8月

No. 322 Do the Rich Save More in Japan? Evidence Based on Two Micro Datasets for the 2000s

堀 雅博、岩本 光一郎、新関 剛史、菅 史彦 2015年6月

No. 321 New Evidence on Intra-Household Allocation of Resources in Japanese Households

堀 雅博、光山 奈保子、清水谷 諭 2015 年 5 月

No. 320 ミンサー型賃金関数の推計と Blinder-Oaxaca 分解による賃金格差の分析

吉岡 真史 2015 年 5 月

(3) 研究会報告書等

ソーシャル・キャピタルの豊かさを生かした地域活性化 滋賀大学・内閣府経済社会総合研究所共同研究
地域活動のメカニズムと活性化に関する研究会報告書 2016 年 3 月

大学等の知と人材を活用した持続可能な地方の創生に関する研究会報告書 2016 年 3 月

公民連携手法研究会報告書 2016 年 1 月

公民連携手法研究報告書 2015 年 7 月

オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化研究会 報告書 2015 年 6 月

3. フォーラム・ワークショップ

国際フォーラム・国際シンポジウム等

マネジメント調査に関する国際コンファレンス (共催：一橋大学)

Conference on Management and Organizational Practices Surveys 2016 年 8 月開催

開会挨拶 杉原 茂

内閣府経済社会総合研究所次長

セッション1：技術としてのマネジメント

発表者：Nicholas Bloom

スタンフォード大学教授

セッション2：パキスタンにおける MOPS 調査の概要

発表者：Renata Lemos

世界銀行エコノミスト

セッション3：米国における MOPS 調査の概要

発表者：Cathy Buffington

米国国勢調査局エコノミスト

セッション4：平成 27 年度 ESRI プレ調査の結果と平成 28 年度日本版 MOPS 調査の概要

発表者：亀田 泰佑

内閣府経済社会総合研究所研究官

神林 龍

一橋大学経済研究所教授

閉会挨拶

大山 睦

一橋大学イノベーションセンター准教授

社会保障と経済行動に関するセミナー

Seminar on Social Security and Economic Behavior 2016 年 8 月開催

セッション1：医療費の地域的バラつきと技術波及

発表者：Jonathan Skinner

ダートマス大学教授

討論者：池上 直己

聖路加国際大学特任教授

セッション2：社会保障と労働参加 (NBER 研究プロジェクトより)

発表者：David Wise

ハーバード大学教授

ESRI 国際コンファレンス「日本の高齢化：団塊の世代引退の影響」2016 年 8 月開催

開会挨拶

特別セッション：需要と供給：米国と日本から学ぶ

ジェイソン・ファーマン

米国大統領経済諮問委員会 (CEA) 委員長

セッション1：団塊の世代引退の経済的影響

議長：梅溪 健児

内閣府経済社会総合研究所顧問

発表者：坪内 浩

内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官

市川 恭子

内閣府経済社会総合研究所主任研究官

セッション2：団塊の世代が引退し、医療・介護需要が増大することが労働市場に与える影響

議長：梅溪 健児

内閣府経済社会総合研究所顧問

発表者：近藤 絢子

東京大学准教授

討論者：オリビア・ミッチェル

ペンシルベニア大学教授

セッション3：日本の人口高齢化の家計貯蓄、資産選択に与える影響

議長：アニル・カシャップ	シカゴ大学教授
発表者：祝迫 得夫	一橋大学教授
討論者：ジェームズ・ポターバ	マサチューセッツ工科大学教授

セッション4：日米は高齢化圧力をいかに下げうるか

議長：アニル・カシャップ	シカゴ大学教授
発表者：クラウディア・ゴルディン	ハーバード大学教授
討論者：敦賀 貴之	内閣府経済社会総合研究所主任研究官

セッション5：高齢化に関するパネル・ディスカッション

モデレーター：梅溪 健児	内閣府経済社会総合研究所顧問
パネリスト：	
伊藤 元重	学習院大学教授
エドワード・ラジャー	スタンフォード大学教授
ジェームズ・ポターバ	マサチューセッツ工科大学教授
清家 篤	慶應義塾長・内閣府経済社会総合研究所名誉所長

ESRI-JCER 国際コンファレンス「生産性向上と包摂的成長のために」2016年3月開催

・基調講演

” The Economic Promises we keep – Policies to ensure productivity and inclusive growth”

キャサリン・L・マン	OECD チーフエコノミスト
------------	----------------

・パネルディスカッション

パネリスト：

キャサリン・L・マン	OECD チーフエコノミスト
伊藤 元重	東京大学教授・経済財政諮問会議議員
岩田 一政	日本経済研究センター理事長
森口 千晶	一橋大学教授

ESRI 国際コンファレンス「拡大するインド経済の発展の可能性」2015年10月開催

・主催者挨拶

梅溪 健児	内閣府経済社会総合研究所長
-------	---------------

・基調講演 「インドの潜在力の実現に向けてー『低・中所得の罫』の回避のためにー」

Shekhar Shah	インド応用経済研究所所長
--------------	--------------

・パネルディスカッション

セッション1 「インド経済の特徴と今後の展望」

Shekhar Shah	インド応用経済研究所所長
平林 博	日印協会理事長
松本 勝男	JICA 南アジア部次長
田中 清泰	JETRO アジア経済研究所研究員
(モデレーター)	
絵所 秀紀	法政大学経済学部教授

セッション2 「インド経済の成長と新興国の経済発展」

Shekhar Shah	インド応用経済研究所所長
平林 博	日印協会理事長
松本 勝男	JICA 南アジア部次長
田中 清泰	JETRO アジア経済研究所研究員
(モデレーター)	
絵所 秀紀	法政大学経済学部教授

ESRI 国際コンファレンス「日本経済の着実な成長に向けて」2015年7月開催

セッション1：日本のビジネス環境

議長：梅溪 健児	内閣府経済社会総合研究所長
報告者：星 岳雄	スタンフォード大学教授
討論者：齋藤 潤	慶應義塾大学特任教授
討論者：浜田 宏一	イェール大学名誉教授

セッション2：持続可能な世界経済の発展と日本の成長

議長：梅溪 健児	内閣府経済社会総合研究所長
報告者：ジェフリー・サックス	コロンビア大学教授
討論者：岩田 一政	日経センター理事長

セッション3：女性の労働供給 短期と長期のトレードオフ

議長：アニル・カシャップ	シカゴ大学教授
報告者：阿部 正浩	中央大学教授
討論者：キャサリン・エイブラハム	メリーランド大学教授

セッション4：為替相場と日本企業

議長：アニル・カシャップ	シカゴ大学教授
報告者：堀 雅博	内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官
討論者：ミッシェル・ドゥヴレ	ブリティッシュ・コロンビア大学教授

パネル・ディスカッション：日本経済の着実な成長に向けて

(パネリスト)

伊藤 隆敏	コロンビア大学教授
伊藤 元重	経済財政諮問会議議員
モーリス・オブストフェルド	大統領経済諮問委員会委員
アニル・カシャップ	シカゴ大学教授

(モデレーター)

梅溪 健児	内閣府経済社会総合研究所長
-------	---------------

4. 研修実績

2016年度

11月	Excel (マクロ/VBA) 実践
10-11月	Excel (マクロ/VBA) 応用 (第2回)
10-11月	時系列分析実習
10月	パネル分析実習
9-10月	Excel (マクロ/VBA) 初級 (第2回)
9-10月	Excel 基礎 (第2回)
9-10月	計量経済分析入門 (第2回)
6-8月	英文ビジネスライティング研修
6月	季節調整法研修
6月	国民経済計算 (93SNA) 作成入門
6月	アンケート調査実践セミナー
6月	Excel (マクロ/VBA) 応用 (第1回)
5-6月	Excel (マクロ/VBA) 初級 (第1回)
5-6月	Excel 基礎 (第1回)
5月	計量経済分析入門 (第1回)
通年	マクロ経済と経済政策に関する「入門セミナー」

2015年度

(国内研修)

1-3月	英文ビジネスライティング研修(第2回)
11月	計量経済個票分析
10-11月	EViews 技能研修
10-11月	経済分析等に役立つExcel 技能研修(第2回)
9-10月	計量経済分析入門(第2回)
9月	季節調整法研修
6月	国民経済計算(93SNA) 入門
6-7月	経済分析等に役立つExcel 技能研修(第1回)
5-7月	計量経済分析実習
5-7月	英文ビジネスライティング研修(第1回)
5月	Stata 技能研修
5月	計量経済分析入門(第1回)
通年	マクロ経済と経済政策に関する「入門セミナー」

(外国人研修)

1月	SNA 統計研修
----	----------

5. 国際共同研究プロジェクト

<平成27年度国際共同研究プロジェクト>

平成27年度「経済の好循環と日本経済再生に向けた国際共同研究」(労働分野) 報告会 2016年3月開催
開 会

主催者挨拶: 梅溪健児(内閣府経済社会総合研究所長)

主査 挨拶: 樋口美雄(慶應義塾大学)

セッション1 「持続的成長に向けての人的資本政策の役割」

発表者: 川口大司(一橋大学)

討論者: 田中隆一(東京大学)

セッション2 「景気変動が賃金格差に与える影響」

発表者: 佐々木勝(大阪大学)

宮本弘暁(東京大学)

討論者: 太田聡一(慶應義塾大学)

セッション3 「日本の二部料金的賃金設定ルール ー名目賃金上昇の条件ー」

発表者: 脇田成(首都大学東京)

討論者: 照山博司(京都大学)

セッション4 「付加価値生産性と部門間労働配分」

発表者: 塩路悦朗(一橋大学)

討論者: 乾友彦(学習院大学)

セッション5 「介護リスク発生による中高年者の労働供給制約・収入減少」

発表者: 山田篤裕(慶應義塾大学)

討論者: 泉田信行(国立社会保障・人口問題研究所)

セッション6 「中高年の就業意欲と実際の就業状況の決定要因に関する分析」

発表者: 戸田淳仁(リクルートワークス研究所)

討論者: 酒井正(法政大学)

セッション7 「育児休業給付金と女性の就業」

「保育所整備は母親の就業率をなぜ押し上げなかったのか」

発表者: 神林龍(一橋大学)

討論者: 関麻衣(JICA 研究所)

講 評 樋口美雄(慶應義塾大学)

平成27年度「経済の好循環と日本経済再生に向けた国際共同研究」

(マクロ経済政策分野) 報告会 2016年3月開催

開 会

主催者挨拶：梅溪健児 (内閣府経済社会総合研究所長)

主査 挨拶：福田慎一 (東京大学)

セッション1 「日本企業の設備投資はなぜ低迷したままなのか—長期停滞論の観点からの再検討—」

発表者：中村純一 (株式会社日本政策投資銀行)

討論者：細野薫 (学習院大学)

セッション2 「国際資金余剰・世界金利・長期停滞」

発表者：松林洋一 (神戸大学)

討論者：小川英治 (一橋大学)

セッション3 “Uninsured Risk, Stagnation and Fiscal Policy”

発表者：R. Braun (アトランタ連邦銀行)、中嶋智之 (京都大学)

討論者：楡井誠 (財務総合政策研究所)

セッション4 「技術革新と長期停滞」

発表者：二神孝一 (大阪大学)、小西邦彦 (大阪大学)

討論者：焼田党 (名古屋市立大学)

セッション5 “Implications of low yields on Japanese government bonds on macroeconomics”

発表者：櫻川昌哉 (慶應義塾大学)、櫻川幸恵 (跡見学園大学)

討論者：北川章臣 (東北大学)

セッション6 “Effects of the Great Recession on the Banking Sector”

発表者：S. W. Joh (ソウル国立大学)

討論者：清水克俊 (名古屋大学)

セッション7 “Japanese Monetary Policies and Global Spillovers: Analysis Using the GVAR Model”

発表者：R. Dekle (南カリフォルニア大学)

討論者：小枝淳子 (早稲田大学)

セッション8 「日本の期待インフレ率の変遷」

発表者：沖本竜義 (オーストラリア国立大学)

討論者：開発壮平 (日本銀行)

セッション9 「量的・質的金融緩和により銀行行動は変化したか？」

発表者：本多佑三 (関西大学)、井上仁 (札幌学院大学)、立花実 (大阪府立大学)

討論者：渡部和孝 (慶應義塾大学)

講 評 福田慎一 (東京大学)

平成27年度「経済の好循環と日本経済再生に向けた国際共同研究」(生産性分野) 報告会 2016年2月開催

開 会

開会挨拶：深尾京司 (一橋大学経済研究所)

セッション1：“Welfare Assessment of New Retail Formats and Entry Regulation: Evidence from Japan’s Retail Industry”

報告者：松浦寿幸 (慶應大学産業研究所)

討論者：Colin Hottman (FRB)

セッション2：“Contribution of Quality and Product Variety to Retail Firm Growth in Japan”

報告者：佐藤正弘 (内閣府経済社会総合研究所)

討論者：川口康平 (一橋大学)

セッション3：“Measurement of Deflator and Added Value in Service Sector”

報告者：深尾京司 (一橋大学経済研究所)

討論者：Jiemin Guo (BEA)

セッション4：“Overview on the disease-based approach in the U.S. national health care accounts”

報告者：Allison B. Rosen (University of Massachusetts Medical School)

討 論 者 : Paul Schreyer (OECD)

セッション5 : “Efficiency in Research and Development of Medical Research”

報 告 者 : 杉原茂 (内閣府経済社会総合研究所)

討 論 者 : 鈴木潤 (政策研究大学院大学)

基 調 講 演 : “Measurement Challenges with service sector productivity”

講 演 者 : Paul Schreyer (OECD)

閉 会

閉会挨拶 : 杉原茂 (内閣府経済社会総合研究所)

6. その他

学会等における報告

2016年

- 10月 三輪哲 東京大学准教授・高見具広 労働政策研究・研修機構 研究員・高村静 上席主任研究官付・石田絢子 行政実務研修員 “1. 20代未婚者における交際相手との結婚意欲 (若年者の結婚意思決定の研究 (1)) 2. 社会経済的地位と結婚意欲が結婚意思決定へと与える影響 (同(2)) 3. 個人の社会関係性が交際から結婚への移行に及ぼす影響 (同(3))” 日本社会学会, 九州大学
- 6月 亀田泰佑 (経済社会総合研究所研究官)、佐藤正弘 (経済社会総合研究所研究官) 杉原茂 (経済社会総合研究所次長)、Colin Hottman (Federal Reserve Board) “Contribution of Quality and Product Variety to Retail Growth in Japan” 日本経済学会, 名古屋大学

2015年

- 9月 松田茂樹 中京大学教授・佐々木尚之 大阪商業大学講師・高村静 上席主任研究官付・大澤朗子 研究官 “1. 職場における出会いと結婚意欲の関係 (出生動向基本調査と「未婚男女の結婚と仕事に関する意識調査」の分析(1)) 2. 未婚男女の出会いの阻害要因 (同(2)) 3. 未婚者の結婚・出生意欲を規定する仕事要因及び家庭要因 (同(3))” 日本社会学会, 早稲田大学